

特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
駐車場事業	6,680 万円	924 万円
国民健康保険	70 億 1,789 万円	68 億 5,491 万円
介護保険	67 億 8,969 万円	66 億 8,671 万円
後期高齢者医療	13 億 3,245 万円	13 億 3,082 万円
小型自動車競走事業	246 億 5,419 万円	252 億 9,736 万円

基金残高

令和 6 年度		令和 5 年度	
決算年度末時 令和 7 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 令和 7 年 5 月 31 日現在	決算年度末時 令和 6 年 3 月 31 日現在	出納閉鎖時 令和 6 年 5 月 31 日現在
136 億 3,495 万円	135 億 5,281 万円	135 億 1,132 万円	135 億 5,502 万円

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

地方債残高

	令和 6 年度末	令和 5 年度末
一般会計	338 億 6,577 万円	359 億 253 万円
市民 1 人あたり	約 58 万円	約 61 万円

※市民 1 人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。

みんなのお金の使い道



学校教育や文化、
スポーツのため

3 万 6 千円



ごみ処理や
環境を守るため

4 万 6 千円



市民の
健康を守るため

21 万 5 千円



消防や
防災対策のため

2 万 8 千円



農林水産業、
商業のため

2 万 1 千円



道路、公園など
まちの整備のため

3 万 9 千円



その他
(市の運営など)

18 万 1 千円

一般会計の歳出額約 331 億円
を市民 1 人あたりで計算すると
約 57 万円です。そのお金は次
のように使いました。

※令和 7 年 3 月 31 日現在の人口
(58,416 人)で計算しています。

用語解説

自主財源

市税や施設使用料等、市が
国や県に依存することなく
自ら調達することができる
財源です。

依存財源

地方交付税や市債等、国や
県から一定の基準に基づき
交付されたり割り当てられ
たりする財源です。

地方交付税

市の財政力に応じて、国か
ら交付されるお金です。

国庫支出金・県支出金

事業の財源として、あらか
じめ使途が決められたう
えで、国や県から交付され
るお金です。

市債

事業を行うために、市が国
や金融機関から借り入れる
お金です。

義務的経費

歳出のうち、その支出が義
務付けられている経費で
す。この割合が高いほど、
新たな事業などに使えるお
金が少なくなります。

投資的経費

道路、橋りょう、学校、公
共施設の整備等、将来に残
るものに対して支出される
経費です。

公債費

市債による借入金の元利償
還金と一時借入金利子の合
計額です。

物件費

施設の光熱水費や維持補修
費、各種委託料等の経費です。

補助費等

一部事務組合等に対する負
担金や各種公益団体に対す
る補助金等の経費です。

繰出金

一般会計から特別会計へ支
出される経費です。